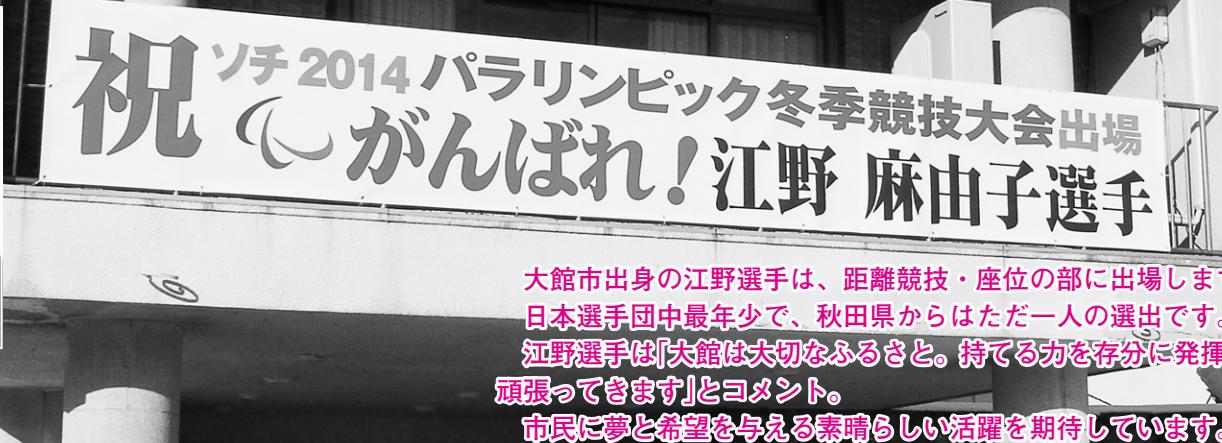




江野 麻由子さん
(秋田南高1年)



大館市出身の江野選手は、距離競技・座位の部に出場します。日本選手団中最年少で、秋田県からはただ一人の選出です。江野選手は「大館は大切なふるさと。持てる力を存分に発揮し、頑張ってきます」とコメント。

市民に夢と希望を与える素晴らしい活躍を期待しています。

比内とりの市

(1月25、26日)

今年で30回目の比内地域の冬の風物詩「比内とりの市」が、比内グラウンドで行われました。

2日間で、市内外から約3万6千人が訪れ、昨年の来場者数を大きく上回りました。

毎年恒例の「比内地鶏かやき鍋」や「比内地鶏千羽焼き」は今年も大

人気で長蛇の列。

比内鶏の鳴き真似の声の長さを競う永唱大会には、雪国体験エターナルの参加者が飛び入りで出場し、大会を盛り上げました。初日の夜には、30回を記念してイルミネーションなども行われ、訪れた人々は地元バンドの演奏とともに楽しんでいました。



合同歳祝い

(2月1日)

厄年の災いを払い、福に転じさせる伝統行事「合同歳祝い会」が市内の各地で行なわれました。

大館地区的歳祝い会場には、数え年で42歳になる男性と33歳になる女性が一堂に会し、神事を行い厄を払いました。



全員で三本締め

市民スキー大会

(2月2日)

「第58回大館市民スキーフェスティバル」が開催され、参加した選手たちは、雨の降る悪条件の中で熱戦を繰り広げました。

樹海ドーム語らいの森では距離競技が行われ、家族やチームメイトらの大きな声援を受けた選手達が懸命な走りを見せていました。

また、大滝温泉スキー場では、大回転競技とスノーボード競技が行われ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮して、好タイムを狙つて速さを競いました。



アメツコ市

(2月8、9日)

400年の歴史を持つ大館の冬の風物詩「大館アメツコ市」が開催されました。

この日にアメを食べると風邪をひかないと伝えられ、訪れた大勢のお客さんは、主会場のあまちハチ公通りで色鮮やかなジャンボ枝アメの並木を通して、風邪封じのアメを買い求めていました。



枝アメ作り体験



このコーナーでは、市内各地で行われたイベントや市民の活動を紹介します。楽しい催しなどありましたらお知らせください。

問 総務課広報広聴係 ☎ 43-7025